

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1192200028		
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家・志木柏町		
所在地	埼玉県志木市柏町3-9-19		
自己評価作成日	令和7年11月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;jiryosyoCd=1192200028-006ServiceCd=320">https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;jiryosyoCd=1192200028-006ServiceCd=320</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社ユーズキャリア		
所在地	埼玉県熊谷市久下1702		
訪問調査日	令和7年12月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々の日課である敷地内散歩や体操が当施設のアピールしたい点です。施設でも外で歩く機会が減らないよう、ご入居者様にはいつまでも健康に過ごしていただくために日々取り組んでおります。また、季節のイベント行事も力を入れており、職員も企画をしております。地域との交流も季節ごとに施設にお越しいただき、一緒に楽しんでおります。生活の中では、ご入居者様一人ひとりのできることを生かし、自身の力が発揮できるよう、一緒にお手伝いやおやつ作りなど協力いただける機会を設けております。今まで入居される前にされていたことが入居後も実践できるよう、日々の過ごし方についても職員間情報共有し、ご提供できているかと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

東武東上線「柳瀬川」駅から徒歩圏内に位置し、同一法人が運営する有料老人ホームの1階に併設された2ユニットの施設である。フロア内の交流が活発であり、同建物内の職員と連携しながら、安心かつ安全な生活環境を整えている。敷地内には緑豊かな散策路と巨木があり、入居者にとって憩いの場となっている。日々の散歩や体操を継続して実施しており、施設の特色として定着している。また、季節行事やイベントにも注力しており、地域住民を招いた催しを通じて交流の機会を提供している点は、入居者の楽しみと地域連携の両面において有意義である。日常生活においては、入居者個々の能力を尊重し、役割を持てる活動を取り入れている。お手伝いやおやつ作りを通じて主体性と意欲の向上につなげており、入居前の生活歴を踏まえた支援が職員間で共有されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金管理できるご入居者様には、自動販売機での飲み物購入など支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望されるご入居者様はご家族様了承のもと、電話にて会話等をさせていただきます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居者様が共に過ごされる食堂、リビングには季節の飾りつけをしております。また、窓から見える景色や散歩により、外の植栽や気候を感じていただけるようになっております。	共用部は開口部が広く、自然光が十分に差し込む明るい空間となっており、庭の木々を望むことができる。廊下は幅が広く、ソファ等が配置されたゆとりある造りである。また、壁面には入居者と共に制作した季節の飾りが施され、明るく親しみやすい雰囲気となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事以外の時間等に談笑されるご入居者様が様々なご入居者様とかかわることができるよう配慮しております。また、居室で過ごされることもあり、室温など声掛けにも配慮しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド・タンスなどは備え付けですが、使い慣れた棚や仏壇等の持ち込みをしていただき、なるべく今までの生活に近いレイアウトを居室でつくることで心地よく住んでいただけるよう、配慮しております。	居室にはベッド、タンス、クローゼットが備え付けられており、入居者は使い慣れた家具や家族の写真、思い出の品を持ち込んでいる。家族と相談しながら自宅に近い生活環境が整えられており、清掃は職員が定期的実施している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要個所にすすりの設置があり、安全に歩行等ができるようつくりとなっております。また、トイレとわかるような掲示や住みやすい環境に向けて職員も取り組んでおります。スタッフの顔もわかるように掲示しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、プライバシーに配慮したお声掛け、誘導、対応を行っております。	個々の入居者の排泄パターンを把握し、定時および随時の声掛けにより必要な支援が行われている。多くの入居者が自力でトイレ排泄を継続しており、本人の希望を尊重しながら、困難な場合でも可能な限りトイレでの排泄が継続できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を無理なく促しております。腸活体操も社内で行っております。必要に応じ、内科医と連携し、薬の処方なども行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴時間はできる限り、ご本人様に希望を伺い、対応しております。入浴剤を使用し、楽しんでいただいたり、工夫してリラックスしていただけるよう努めております。	入浴は曜日や時間を固定せず、可能な限り本人の希望に沿って実施されている。リフト浴および個浴を提供し、入浴剤の使用により季節感や香りを楽しめる工夫も行われている。入浴を拒否する場合には無理に勧めることなく、状況に応じて柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して休んでいただけるよう、夜間の照明や声掛けのトーン、室温などの調整を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬の内容を確認し、セットしております。往診時に内科医の説明により職員へ共有できております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の得意なことをレクリエーションとして取り入れたり、できることをもって出せるようレクリエーションの企画に配慮しております。また、生活の一部になっていた家事やお手伝いも生活リハとして生活に盛り込んでいけるよう取り組んでおります。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外での散歩などは定期的に行っており、ご家族様と外出や外食も適宜行っております。町内会のイベントや季節行事など敷地内での開催もあり、地域交流もできております。	日常的に施設の庭の巨木を見に散歩をしたり、家族と共に外出や外食を行う機会も適宜設けられている。また、町内会のイベントや季節行事が敷地内で開催されることもあり、地域との交流が図られている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人に合わせた声掛けをフロア会議などで話し合い共有しております。声のボリュームやトーンなどを考え、対応しております。	ホーム長は各種研修を受講し、その内容を会議等を通じて職員と共有している。また、日々のケアにおいては、入居者一人ひとりに応じた声掛けや関わり方について職員間で話し合いながら対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	衣類を選んでいただいたり、レクリエーション、何に取り組みたいかなどをご本人様に伺い、選択できるように取り組んでおります。また、自身の意向に沿った生活を送っていただいております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の体調やご入居者様の気持ちを理解し、個々のペースに沿ったケアを行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に1回理美容サービスがあり、ご本人様にメニューを決めていただいております。また、衣類の選択やシニアセラピーなどの選択利用もしていただいております。(自費)		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	手作りおやつを職員と一緒に作ったり、下膳、配膳、お米研ぎなど一緒に協力していただいております。	おやつ作りを共に行うなど、日常の中で楽しみを共有している。入居者の状態に応じて、下膳や食器拭き、テーブル拭き等の役割を担ってもらい、生活への参加を促している。また、2フロア合同のイベントも実施され、交流の機会が設けられている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事はカロリー計算されており、栄養士によるバランスのよい献立となっております。体調や嚥下機能の変化、歯の状態に合わせて食事形態の変更も行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月2回の訪問歯科、週に1回の歯科衛生士による口腔診療、口腔ケアを受けております。毎食後、口腔ケアのお声掛けをし、無理なく取り組んでいただいております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	高齢者あんしん相談センター主催のイベントに参加しホームの様子や情報を発信しております。2026年度は事業所にて包括と共催でイベントを企画しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、歯科は月に2回、歯科衛生士、訪問看護師は月に4回訪問しております。訪問時には状態を説明し、適切な処方や対応をいただいております。	内科および歯科は月2回、歯科衛生士および訪問看護師は月4回の定期訪問が行われている。訪問時には利用者の状態を適切に共有し、必要に応じた処方や対応がなされている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携のため、訪問看護師が定期的に訪問し、健康状態の確認を行っております。職員との情報共有をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はご家族様や医療機関に連絡し状態を把握しております。必要時、病院へ訪問し、相談員の方と話をさせていただくこともあります。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明書に「重度化した場合の対応に係る指針」として明文化し、入居時に説明しております。日頃の状態変化を職員・ご家族様・主治医が共有し、ケアの方針を定めております。	重要事項説明書に「重度化した場合の対応に係る指針」を明文化し、入居時に丁寧に説明している。日常的な状態変化については、職員・家族・主治医間で情報共有を行い、連携のもとでケア方針が定められている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご入居者様の疾患の特徴を把握し、起こりうる状態変化について職員間把握しております。また、急変時の対応については職員が共有できるよう、掲示しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回以上併設事業所と合同で消防訓練を実施しております。地域の方への発信をブログ等でお知らせしております。	年2回以上、併設事業所と合同で消防訓練を実施している。また、訓練の実施状況についてはブログ等を通じて地域に発信しており、情報提供に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院後の退居などになられた方のご家族様にはその後のご様子や状態について電話などで話す場を設けております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話やご様子から生活の要望や意向をくみ取れるよう努めております。また、ご家族様にもご報告や共有をし、希望等を伺っております。	日頃の会話や生活の様子から利用者の要望や意向を把握するよう努めている。併せて、家族に対しても状況の報告や情報共有を行い、希望や意向の確認を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の実態調査等で生活歴や生活環境を聞き取り、把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日2回のバイタル測定を行い、体調把握に努めております。また、日中・夜間の様子について職員間情報共有し、周知しております。趣味や出身などの個々のアセスメントをしっかりと行っております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスやフロア会議等で現在の状態や状況について話し合い、ご家族様ご要望とすり合わせて反映しております。	介護計画は原則として6か月に1回見直しを行い、併せて毎月の会議やユニット会議においてモニタリングを実施している。医療関係者や職員の意見に加え、家族からの「ご意見記入表」による要望や意見も反映しながら、計画作成が行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録や申し送りノート、電子記録にて情報共有をしております。ご本人の状況、状態に合わせたケアを検討、実践しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設している施設との連携を図り、急変があった際に看護師に診ていただくこともあります。		

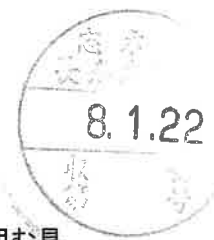
自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の実態調査や入居時の契約の際にご本人様、ご家族様に話を伺い、アセスメントやコミュニケーションを図っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居契約時などに不安やご要望などを伺っております。また、見学時の質問などについてもお答えしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様に必要なサービスを提供、提案を行っております。また、グループホームとはどのようなサービスなのかご説明をし、グループホーム以外のサービスが必要な際には提案しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の選択や家事、レクリエーションを通して、「行っていただく」ではなく、「一緒に」「ともに」を意識しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的にご家族様にご連絡し、ご要望を伺っております。また、状況をご報告し、面会時は交流ができるよう、居室などにご案内しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	散歩に出かけたり、施設の体操教室で地域の方の受け入れ等を行い、関係をつくっております。また、家族だけではなく、友人などの面会受け入れも実施しております。	散歩への同行や施設内体操教室への地域住民の受け入れを通じて、地域との関係づくりが行われている。また、家族に限らず友人等の面会も受け入れており、利用者の社会的つながりを大切にした対応がなされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様同士の相性や関係性を見極め、「かかわる」を大切にしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご家族様の状況なども踏まえ、日頃より会議や申し送りなどで成年後見制度について学び話し合う機会を作っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去時にはご理解いただけるよう時間をかけてご説明させていただいております。いつでも問い合わせいただけるよう、お声掛けしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご入居者様、ご家族様からの意見等はできる限り対応しております。運営推進会議、家族会などでも機会を作っております。また、本部と連携し、反映できるよう努めております。	会話が可能な利用者からは日常的な会話を通じて意見を把握し、家族からの意見は面会時や通信、随時の連絡を通じて収集している。要望には可能な範囲で対応するとともに、施設の様子はブログで発信している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度の職員会議やフロア会議で職員からの意見を聞いております。面談も定期的に行い、反映できること等は反映に努めております。	毎月の職員会議およびフロア会議では、職員から活発に意見が出され、業務改善に向けた提案が行われている。また、年2回の個別面談においても意見や要望を聴取し、働きやすい職場環境づくりに反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営本部の担当者が訪問し、勤務状態等把握しております。必要であれば管理者、職員とも面談しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営本部による研修を行っております。また、時間をみて業務・ケアのレクチャーを実施しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所との交流を行っており、管理者同士の情報交換や他事業所への訪問を行っております。		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	常に理念を念頭におきケアを行い、笑顔が絶えないホームづくりに取り組んでおります。理念の実現に向け取り組んでおります。	施設の理念である「安心・安全・笑顔」に基づき、日々のケアが適切に実践されているかを確認しながら対応している。ホーム長は日常的に職員へ声掛けを行っており、また勤務年数の長い職員が多いことから、当該理念は職員間に十分浸透している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議の開催や地域の方の受け入れ、体操教室にて一般の方の受け入れもブログ、チラシ等でお知らせしております。	自治会に加入しており、回覧板は入居者と共に回覧している。体操教室には一般の参加者を受け入れ、近隣住民との交流を促進している。また、地域行事におけるさまざまなイベントを通じて施設への訪問があり、地域との交流は活発である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の皆様向けに他事業所合同で健康教室の開催を行い、体操教室や認知症講座を実施させていただきました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催し、定期的実施できているが、参加人数も限られており、地域とご家族様が同時に参加ができるよう、今後工夫してまいります。	運営推進会議は定期的開催され、継続的な実施体制が確保されている。平日の開催となっていることから参加者が限定される状況にあるが、今後は地域関係者と家族が同時に参加できるよう、開催方法や周知方法の見直しに向けた検討が進められている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定期的に高齢者あんしん相談センターや居宅介護支援事業所と連絡調整をとっております。	高齢者あんしん相談センターや居宅介護支援事業所と定期的に連絡調整を行い、継続的な連携が図られている。地域の情報共有を目的として相談センターや居宅介護支援事業所を訪問するなど、関係機関との連携強化に積極的に取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3か月に1度身体拘束適正化委員会、年2回の身体拘束の適正化のための研修を開催し、指針の確認や身体拘束に当たる行為などについて研修しております。	3か月に1回、身体拘束廃止委員会を開催するとともに、年2回の研修を実施している。研修では具体的な事例を用いて理解を深めており、研修後には理解度の確認やレポート提出を行うことで、職員が自らのケアを振り返る機会として有効に活用されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年3回の虐待防止委員会、年2回の虐待の防止のための研修を開催し、声掛けの方法や虐待事例などについて研修をしております。		



### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・さらなる個別ケアの対応とお客様の意見の尊重。	・お客様それぞれのニーズに沿ったケアの確立とひとりひとりにあったお声掛け。	・社内での研修も多数あり、積極的な参加とフロア会議でのサービス提供、ケアの見直しについて再度取り組む。また、認知症についての勉強会などで理解を深める。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。